

【解答例】

1. 使うほうがよいとき→ **b, c**
使わないほうがよいとき→ **a, d**
2. **c**

【訳例】

今日は、英語でのコミュニケーションに役立ついくつかのヒントをお伝えします。みなさんは、英語で友達と上手にコミュニケーションをとりたいですか。もしそうなら、略語を使ってみてください！略語は、長めの言葉の「短い形」です。例えば、「ASAP」は「as soon as possible（できるだけ早く）」、「FYI」は「for your information（ご参考まで）」という意味です。「U.S.A.」は「United States of America（アメリカ合衆国）」の略語です。

略語はとても便利です。時間を節約することができます。例えば、「ASAP」と書くのは、「as soon as possible」と書くよりもずっと早いです。略語はスペースを節約することもできます。ショートメッセージを送ったり、SNS に載せたりするときに便利です。それらは、コミュニケーションを短く、簡単にします。

しかし、略語を使うときには注意が必要な場合もあります。公式な場面では、あまり適さないことがよくあります。もし正式なメールや公文書で略語を使うと、失礼だと思う人がいるかもしれません。読者の中に略語を知らない人がいるかもしれない場合もあります。すべての人が略語を理解しているわけではありません。多くの年配の方々は、略語になじみがないかもしれません。略語の使用は彼らを混乱させてしまう場合もあります。

略語は便利ですが、いつでも最良の選択というわけではありません。よいコミュニケーションとは、状況を考えることです。誰とコミュニケーションを取りたいのでしょうか。その人のことを考える必要があります。もしメッセージを明確にしたいなら、相手の気持ちを考えましょう。コミュニケーションは言葉を送るだけではなく、相手と理解し合うことなのです。